

H26 泉佐野丘陵緑地中地区 サイン計画(案)

1. サイン施設の考え方

■サイン施設設置方針

- ・『つくり続ける公園』であることから、総合案内板も含めて活動・プログラム等に対応できるものとする。
- ・可能な限りパーククラブとの協働によるハンドメイドの可能性を検討する。
- ・設置は必要最小限とし、利活用状況や整備状況にあわせた成長型の整備を行なう。
- ・公園供用開始時点では基本となるサイン(総合案内板)と必要最小限の辻サインを設置する。
- ・その他のサインについては、トータルデザインのルールに基づき、形、素材、色を統一しながら設置していく。

■サイン施設のイメージ

[形]

- ・パークセンターや郷の館の意匠をイメージしたデザインとする。

[素材]

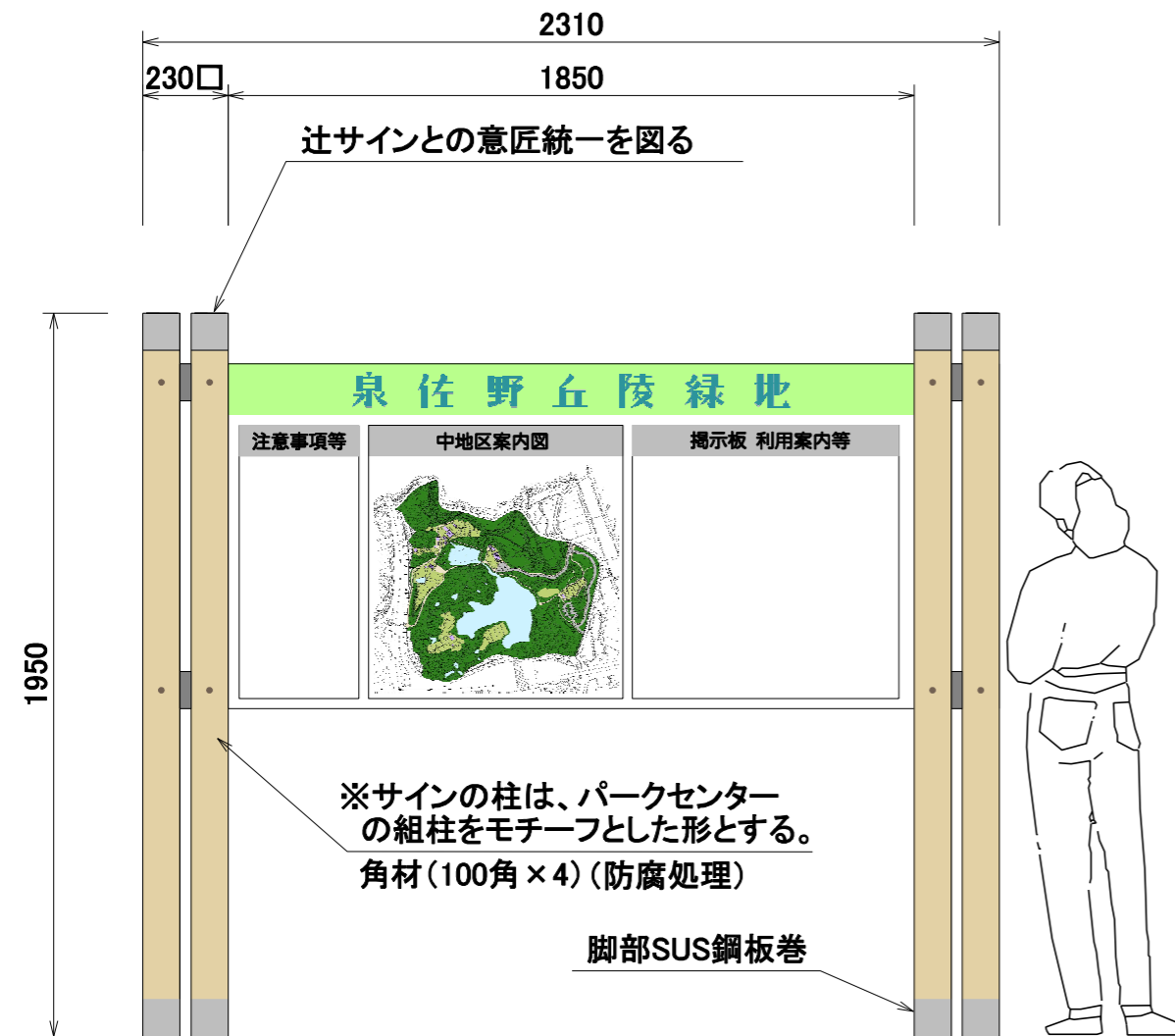
- ・素材は本公園の特徴(テーマ)に合った国内産(近畿圏産)の木材を使用する。

[色]

- ・本体の色は、パークセンターの内装の意匠と合わせて、木などの自然素材の色を活かしたものとする。
- ・表示面については、デザインコードを踏まえ日本の伝統色を使用する。

2. サイン施設イメージ

■総合案内板



■サインのデザインモチーフ



・パークセンターの組み柱(白木色)

■サインのアクセントカラー

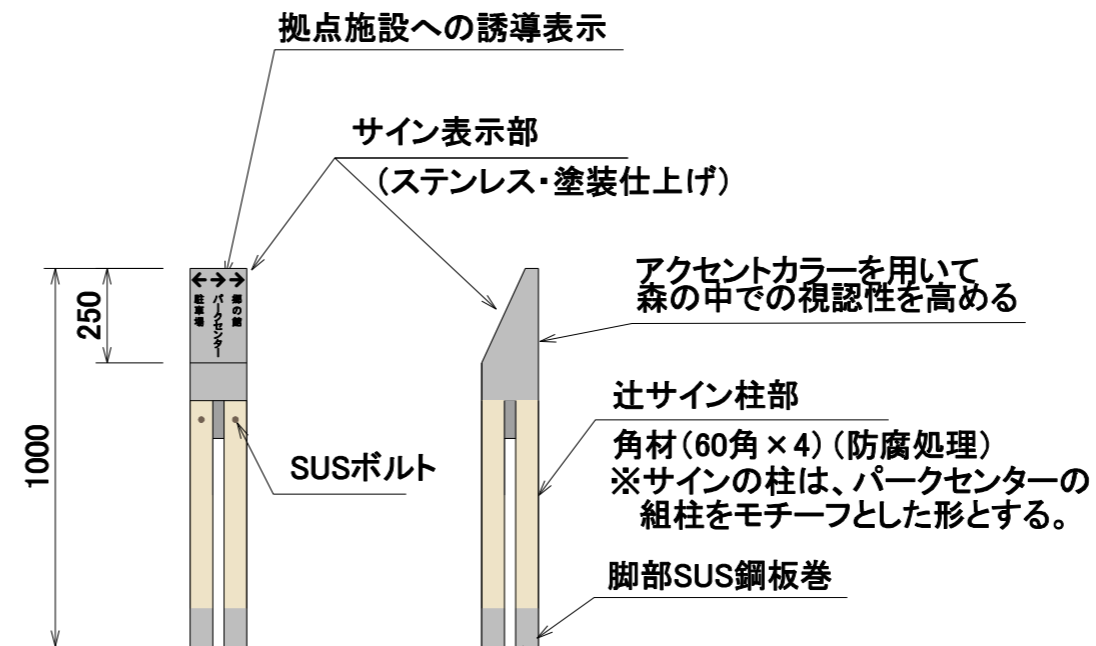
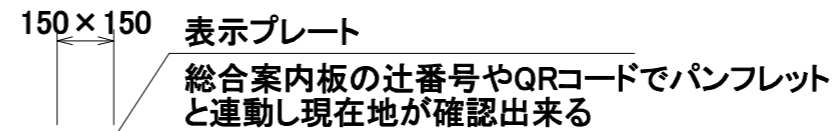
- ・サイン柱の頂部のアクセントカラーは、周囲の自然の色の中で識別しやすい色(例えば灰鼠【はいねず】:日本の伝統色)などを用いる。



・灰鼠(日本の伝統色)

■誘導辻サイン

- ・表示部全体をステンレス製とし、アクセントカラーで塗装する。



■誘導サイン(園名板)

